

# 訪日外国人旅行者アンケート調査結果(概要)

- ◆ 調査場所は、新千歳空港、成田国際空港、中部国際空港、京都駅バスターミナル、福岡空港の5カ所
- ◆ 滞在時に公共交通機関を利用したと回答した677人を分析、バスを利用した人は478人、バスを利用しなかった人は199人

## 路線バス利用者

図1 路線バスを利用して困ったこと(n=478)

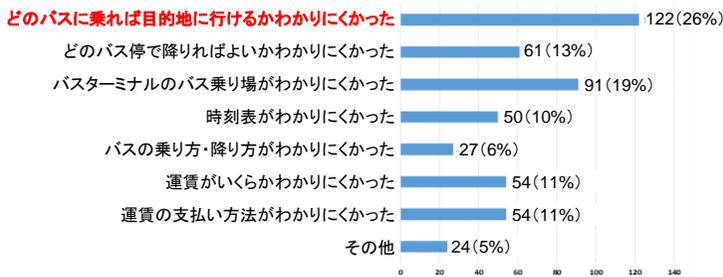
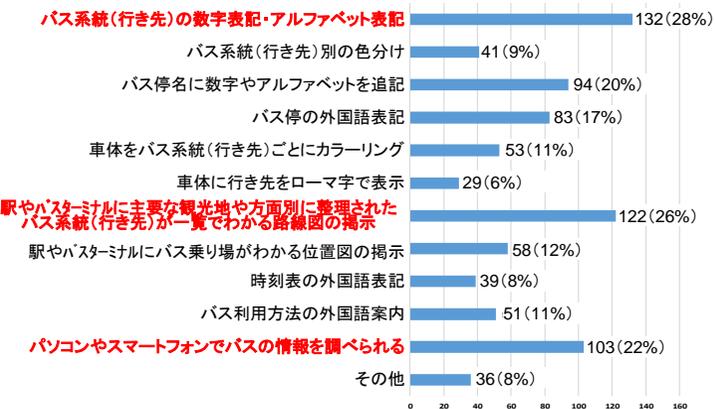


図2 要望するサービス改善(n=478)



## 路線バス非利用者

図3 路線バスを利用しなかった理由(n=199)

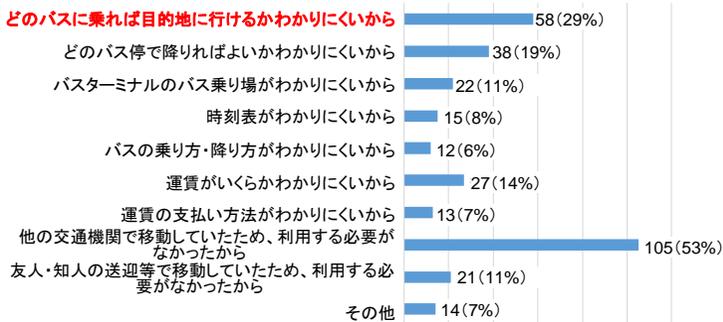


図4 どのサービスが改善されたら路線バスを利用したいと思うか(n=199)

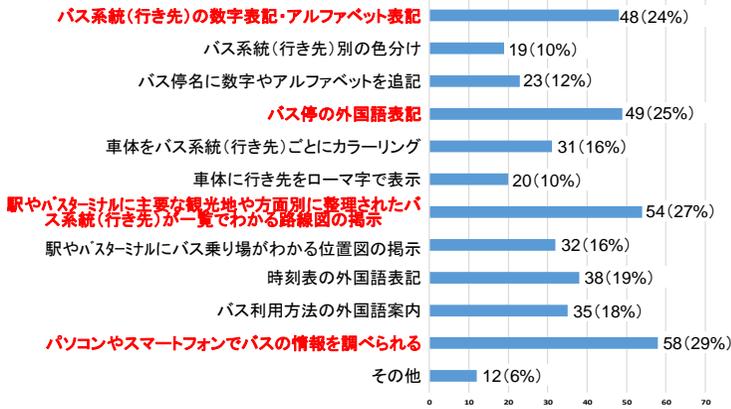


図5 路線バスを利用する際の情報ツール

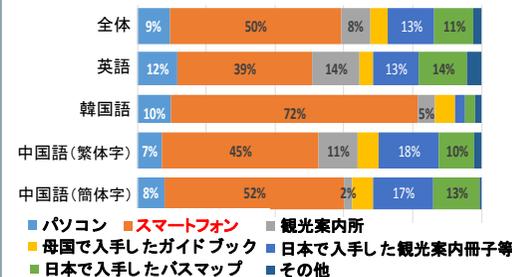
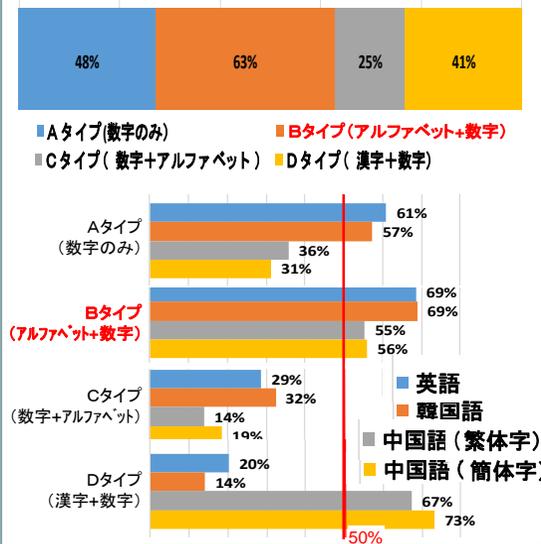


図6 わかりやすいと感じるナンバリングデザイン



- ◆ 「バス系統の数字・アルファベット表記」への改善が必要であり、具体的な表記としては「アルファベット+数字」、次いで「数字のみ」
- ◆ 駅やバスターミナルにおける総合的な情報提供が必要
- ◆ スマートフォンによりバスに関する情報を収集している人が多いため、wi-fi環境の整備が必要

# 乗合バスの運行システムのナンバリング等に関するガイドライン骨子(概要)

## ○ ガイドラインの適用範囲

- 新規に系統ナンバリングを導入する場合や既存の系統番号を変更する場合は、本ガイドラインに準拠。

## ○ ナンバリングの対象とする運行系統

- 一般路線バスに限らず、空港アクセスバス、高速バス、定期観光バス、コミュニティバスを含め、全ての運行形態を対象に設定。
- 予算の制約などにより、全ての運行系統について直ちに設定することが困難な場合は、訪日外国人旅行者や日本人旅行者の利用が多い運行系統を優先し、段階的に実施。

## ○ ナンバリングの基本的な考え方

- 「アルファベット+数字」もしくは「数字のみ」
- 既に「漢字+数字」のナンバリングが実施され利用者に浸透している場合は、漢字をアルファベットに置き換え、当分の間併用。

## ○ ナンバリングの検討体制

- 地域公共交通活性化・再生法の法定協議会等を活用し、運行主体横断的にナンバリングルールを検討することが望ましい。
- 鉄道駅からバス停までの導線で統一的な案内を行うために、地域の関係者による調整の場を設けることが望ましい。

## ○ ナンバリングと併せて実施することが効果的な取り組み

- 駅やバスターミナルにおける総合的な情報提供が必要。
- スマートフォンで関係情報が取得できるよう、wi-fi環境の整備が必要。